取扱説明書

ご使用の前に
よくお読みください。

INSPIRE

助手席回転シート車

このたびはHonda車をお買い上げいただき、
ありがとうございます。
*この取扱説明書は、**INSPIRE** 助手席回転シート車に*
装備された専用機構の取り扱いについてのみ説明してあります。
*その他の内容については**INSPIRE** 取扱説明書をご覧ください。*

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

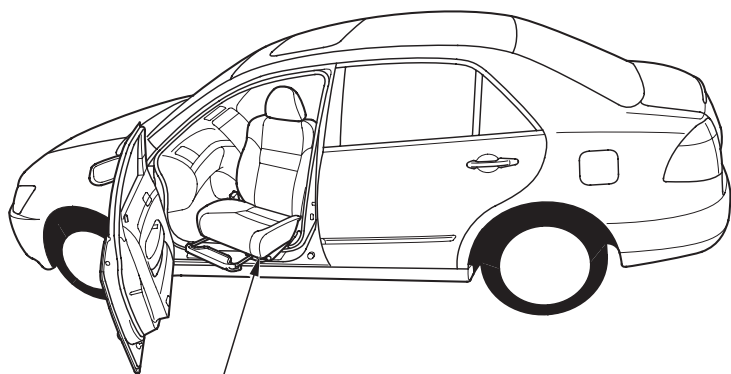
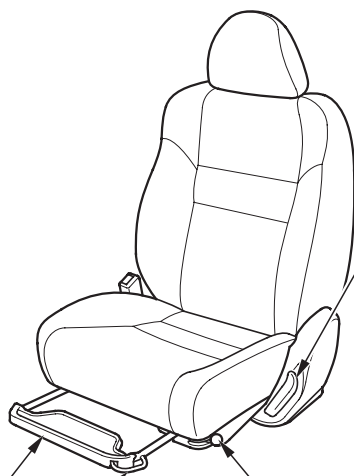
お車のために守っていただきたいこと
（車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています）

知　識

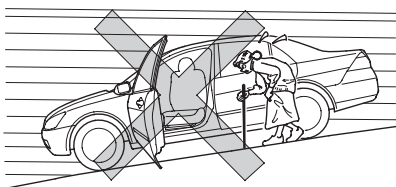
知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

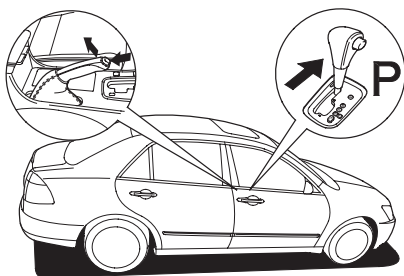
車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

もくじ

各部の名称

安全ドライブのための必読ポイント

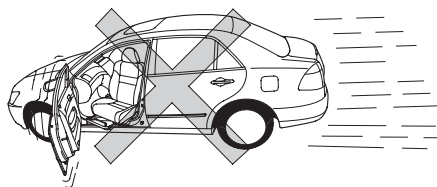
坂道での乗り降りの操作はしない。

- 助手席回転シートの操作は必ず平坦な場所で行ってください。
  坂道で乗り降りすると、姿勢が不安定になり、転倒や落下など思わぬけがをすることがあります。

操作するときは、エンジンを止めて。

- 助手席回転シートを操作するときは、パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをⓅに入れ、必ずエンジンを止めましょう。
  不意に車が動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

操作は介助する人が行う。

- 操作は、道路状況や助手席回転シートの周辺にも注意し、介助する人が行ってください。
  操作を誤ると思わぬけがをすることがあります。

シートを回転したままでの車の移動はしない。

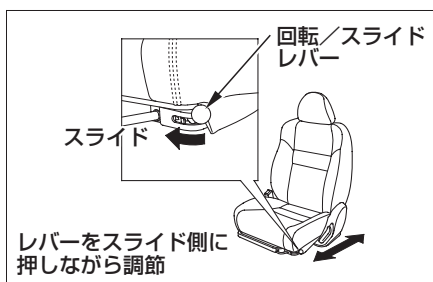
- 助手席回転シートを回転したままでの車の移動は、シートや車両が破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

装備の使いかた

助手席回転シート

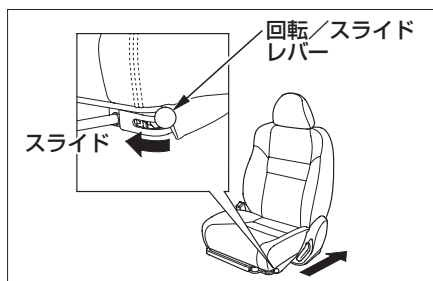
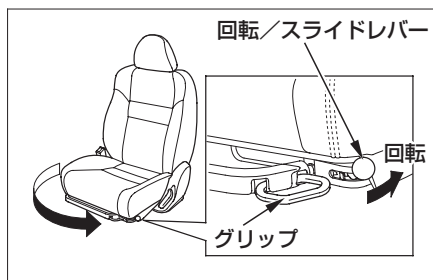
⚠注意

- シートの前後位置を調節するときや回転操作をするときは、助手席乗員や後席乗員の手や足などをはさんだりしないように十分注意してください。

助手席回転シートには、チャイルドシートを取り付けないでください。このシートでチャイルドシートを使用することはできません。

●前後位置の調節

●背もたれの調節

●回転のしかた

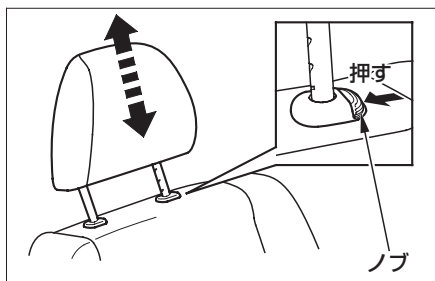
①回転／スライドレバーをスライド側に押しながら、シートの前後位置を一番後方に調節します。

②回転／スライドレバーを回転側に押して、シートが固定される位置まで回転させます。シートが回転しはじめたら、レバーから手を離し、グリップを持って回転させてください。

助手席への乗り降り　→8ページ

知　識

- シートの前後位置が一番後方になっていないと、シートを回転することができません。

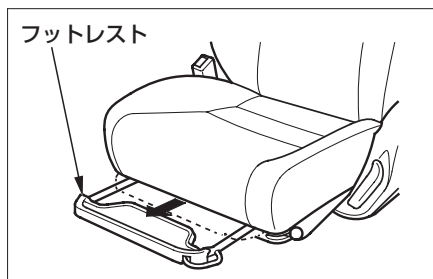
●ヘッドレストの調節

走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。
背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。

高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。
低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。

⚠警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。
  衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
  走行前に必ず正しい位置に調節してください。

フットレスト

手前に引いて使用します。
回転シートの操作中は、介助される人の足を置いてください。
走行中は、フットレストを必ず収納(押し込む)してください。体重がかかりすぎて破損するおそれがあります。

アドバイス

- フットレストに体重をかけたり、ステップの代わりにしないでください。フットレストが破損するおそれがあります。

助手席への乗り降り

⚠注意

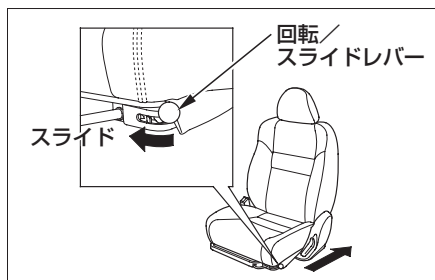
- 助手席回転シートの操作を誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。次のことをお守りください。
  - ・シートの操作は平坦な場所で、周囲の安全を十分確認してから行ってください。
  - ・パーキングブレーキをかけてセレクトバーをⓅに入れ、必ずエンジンを止めてください。
  - ・シートを操作するときは、グローブボックスが閉じていることと、助手席サンバイザーが格納されていることを確認してください。
  - ・シートの回転操作は介助する人が行い、手や足などをはさんだりしないように十分注意してください。また、お子さまには操作させないでください。
  - ・シートを回転した状態で、車の移動はしないでください。
- 介助される人が背もたれの角度を調節しているときは、ドアを閉めないでください。
  手をはさんでけがをするおそれがあります。

知識

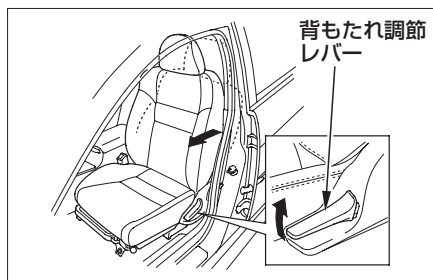
- この回転シートの最大許容荷重は100kgです。
- 回転操作をするときは、ドアをいっぱいに開けてから行ってください。

●介助される人の乗せかた

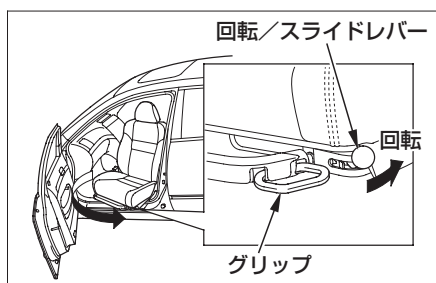
①回転／スライドレバーをスライド側に押しながら、シートの前後位置を一番後方に調節します。

🎓 知　識

●シートを調節させた後は、シートをゆすって確実に固定されていることを確認してください。

②背もたれの位置を回転できる位置に調節します。

🎓 知　識

●背もたれが倒れすぎていると、コンソールボックスと干渉してシートの回転ができなくなります。

③回転／スライドレバーを回転側に押して、シートが固定される位置まで回転させます。シートが回転しはじめたら、レバーから手を離し、グリップを持って回転させてください。

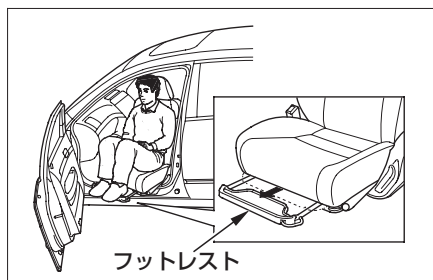
⚠注意

- 後席に人が乗車しているときは、後席の人のつま先や手をはさまないように十分注意してください。

アドバイス

- シートを回転させた状態でドアを閉めると、ドアがシートにぶつかり故障や破損の原因になります。

知　識

- シートを回転させた後は、シートをゆすって確実に固定されていることを確認してください。

④介助される人をシートにすわらせ、フットレストを引き出して足をのせます。

⚠注意

- 介助される人をシートにすわらせるときは、頭部やひじなどを車体にぶつけないように十分注意してください。

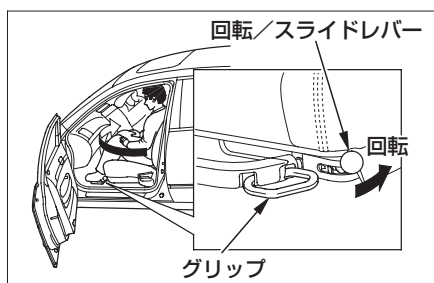
アドバイス

- フットレストには必要以上に体重をかけないでください。フットレストが破損するおそれがあります。

⑤回転／スライドレバーを回転側に押して、シートが固定される位置まで回転させます。シートが回転しはじめたら、レバーから手を離し、グリップを持って回転させてください。

⚠注意

- 後席に人が乗車しているときは、後席の人のつま先や手をはさまないように十分注意してください。

知　識

- シートを回転させた後は、シートをゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- フットレストに足を乗せるときは、シートを回転させるときに、車体にぶつからない位置にのせてください。

⑥介助される人の足をフットレストから降ろし、フットレストを収納（押し込む）します。

アドバイス

- 走行中はフットレストを格納してください。フットレストに体重がかかりすぎて破損するおそれがあります。

⑦介助される人にシートベルトを着用します。

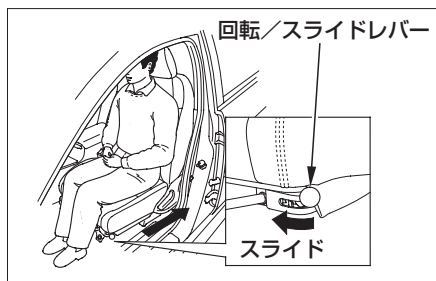
⚠注意

- 介助される人が背もたれの角度を調節しているときは、ドアを閉めないでください。
  手をはさんでけがをするおそれがあります。

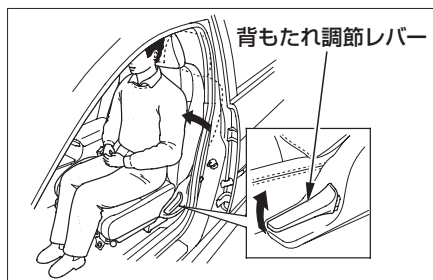
●介助される人の降ろしかた

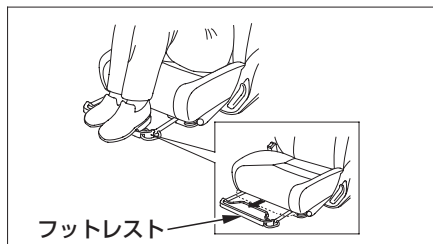
①シートベルトが外してあることを確認します。

②回転／スライドレバーをスライド側に押しながら、シートの前後位置を一番後方に調節します。

知　識

- シートを調節させた後は、シートをゆすって確実に固定されていることを確認してください。

③背もたれの位置を回転できる位置に調節します。

知　識

- 背もたれが倒れすぎていると、コンソールボックスと干渉してシートの回転ができなくなります。

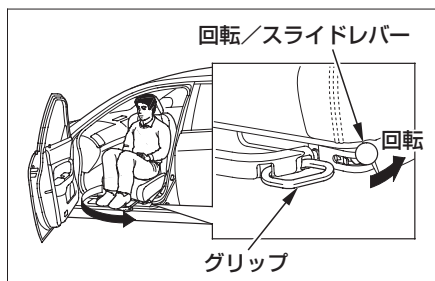
④フットレストを引き出して、介助される人の足をのせます。

アドバイス

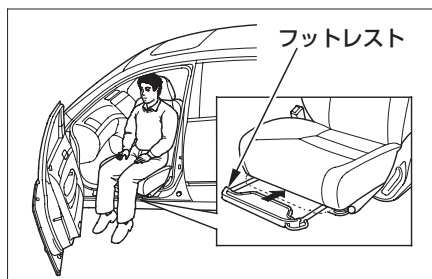
- フットレストには必要以上に体重をかけないでください。フットレストが破損するおそれがあります。

⑤回転／スライドレバーを回転側に押して、シートが固定される位置まで回転させます。シートが回転しはじめたら、レバーから手を離し、グリップを持って回転させてください。

⚠注意

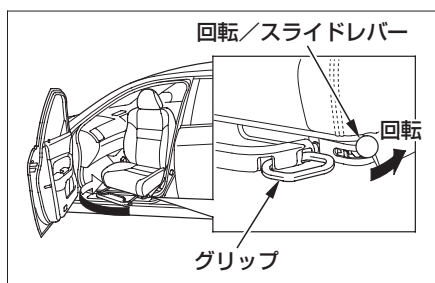
- 後席に人が乗車しているときは、後席の人のつま先や手をはさまないように十分注意してください

知 識

- シートを回転させた後は、シートをゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- フットレストに足をのせるときは、シートを回転させるときに、車体にぶつからない位置にのせてください。

⑥フットレストから介助される人の足を降ろし、フットレストを収納（押し込む）します。

⑦介助される人をシートから降ろします。

⚠注意

- 介助される人をシートから降ろすときは、頭部やひじなどを車体にぶつけないように十分注意してください。

⑧回転／スライドレバーを回転側に押して、シートが固定される位置まで回転させます。シートが回転しはじめたら、レバーから手を離し、グリップを持って回転させてください。

アドバイス

- シートを回転させた状態でドアを閉めると、ドアがシートにぶつかり故障や破損の原因になります。

知　識

- シートを回転させた後は、シートをゆすって確実に固定されていることを確認してください。

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

30SHW610
00X30-SHW-6100